

南アルプス浅南部 無双連山・八高山・千葉山 山行報告

【日程】 2018.11.23(金)~24(土) 両日とも晴れ

【参加者】 CL 柘植 SL 澤田路 安岡 渡辺純(記録)

【行程】

11/23(金) 5:45 千葉駅 6:15 津田沼駅 12:20 無双連山登山口 14:00 山頂 14:20 下山
開始 15:10 駐車場 16:30 川根温泉 17:30 宴会 20:00 消灯

11/24(土) 5:00 起床 6:15 川根温泉道の駅出発 6:50 福用駅着 7:10 八高山登山口
8:50 馬王平 9:30 白光神社 9:35 八高山山頂 11:40 福用駅着 12:40 智満寺
駐車場(千葉山登山口) 13:15 千葉山山頂 13:55 駐車場 21:20 頃千葉着報告



静岡県南部で大井川をはさむ低い山です

【記録】

11/23(金) 今回あまり馴染みの無い静岡県島田市の山を三山登って来ました。三連休でお天気も良いと言う事で東名高速は大渋滞。当初の予定より二時間以上遅く島田金谷ICを降り、大井川沿いの道を北上。途中から細く長い林道を走行していると山の中に犬?? と思ったらイノシシの親子、急斜面を一目散に駆け上って行きました。その早い事!! 最初の山は無双連山 `むそうれさん` と読みます。リーダーが名前が気に入って選んだそうです。登山口と書かれた標識に登り始めますが、はっきりしていたのは最初だけ、それらしき道とテープを頼りに登りますが、いつしか見失います、GPSに従い無事山頂へ、しかし視界はきかず… 反射板の所が少し開けていました。計画では周回コースでしたが時間が遅いので、山頂ピストンに変更。下山も道が不明瞭でしたが、リーダーの指示で無事下山。お楽しみの温泉と思いきや道の駅も隣接の川根温泉も大混み! どうしましょう?! 近くの案内所で隣りの川根温泉ホテルを教えてください。混雑をよそに料金同じでゆっつりのんびりリッチな気分を汗を流せました。さて暗くなって来た所で、道の駅駐車場奥の好幕営地を見つけテントを張ります。ここの駐車場は温泉も有り レストランも有り 大型車もとめられるのをみんな知っているのでしょうか? キャンピングカーが20台以上、車中泊の車で大にぎわい。でもテント泊は我々だけでしたが… 寒い時期は暖かい食べ物と言うリーダーの案で、夕飯は `おでん` やっぱり最高です! ところがリーダーが宴会に持って来てくれた生マッコリを開けたとたん 噴水のように吹き出しテントの中は洪水状態で中身が半分に … 生マッコリの開栓は注意しましょう!



怪しい林道を辿ってたどりついた登山口



蔵屋敷跡（このあたりには山城があったらしい）



鍛冶屋敷跡（つわものどもが夢の跡って感じ）



山頂も樹林の中であまりパッとしない



反対側から撮ると明るく写る



反射板下からは南ア深南部の大パノラマが広がる



道の駅の駐車場は車中泊のクルマで一杯

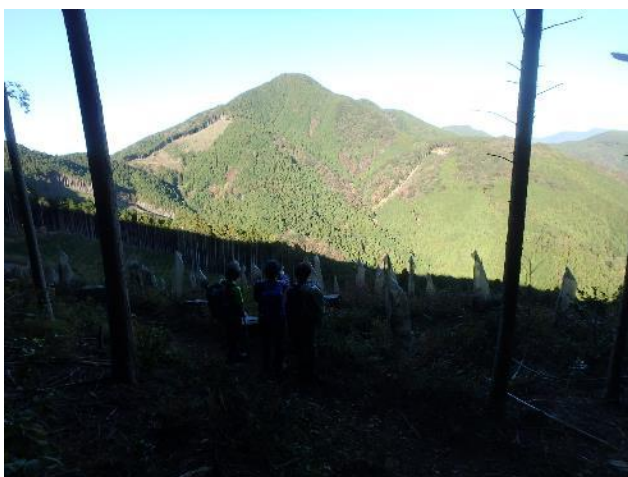
11/24(土) 朝は5時に起床。朝食は各自暖かいカップ麺で済ませてテント撤収。大井川鉄道の福用駅に車を駐車して歩いて登山口へ。八高山はポピュラーな山のように、昨日と違い道は明瞭です。急登コースを登ります。途中馬王平を過ぎた辺りにまだ美味しそうなタラの芽が!… いえいえ来年の為に大切にとっておきましょう! 八高山山頂は駿河湾が望め、反対側には富士山。遠く白い聖岳も見る事が出来ました。



福用駅前からスタート



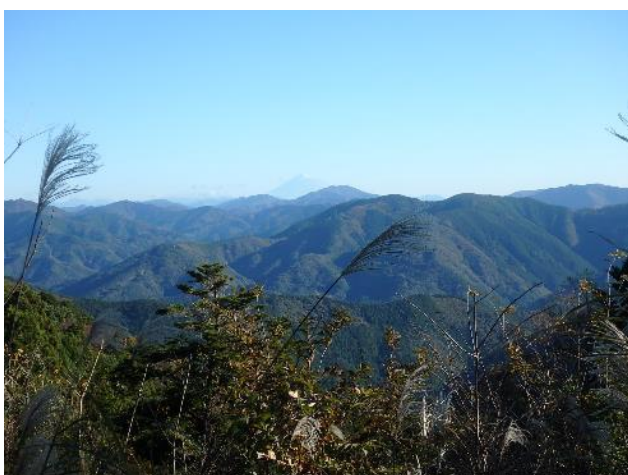
下山コースとの分岐で一休み



八高山が見えてきた



深南部の山々の大展望（遠く聖岳や大無間山も）



正面に薄く富士山（左：真富士山、右：竜爪山）



八高山の山頂で記念写真

山頂であまりのんびりもしてられません。我々にはまだ一山残っています。
千葉山は山頂近くまで車で行って登る事に。智満寺駐車場に車を止め、山門のちょっと怖くない仁王様が迎えてくれました。お参りを済ませ杉並木の道を登ります。山頂近くの「だるま杉」「大杉」はとても大きく立派でした。たぶん台風の影響でしょうか？山頂近くの杉がバタバタ倒れていて道も修復中でした。`千葉山` ⇒ 我らがちば山と同じ名で親近感がわきますね！



智満寺入口の階段を上る



30分ほどの登りで倒木だらけの千葉山山頂



山頂標識を掲げて記念写真



帰りにふたたび智満寺に参拝

下山後はお楽しみの伊太和里の湯へ。ここがまた大混み!! 駐車場にも入れないので温泉はあきらめ一路千葉へ。帰りの高速も都内に入るまで大渋滞。次の日が日曜日なので少し余裕がありましたね…連休で行きも帰りも渋滞の中、柘植さん安岡さん運転本当にありがとうございました。そしてお天気にも恵まれ楽しい山行になりました！ お疲れさまでした！

記録担当：渡辺純子